

# 作成例

作成日 年 月 日

## リフォーム工事見積書

様

請負者名  
代表者  
住所  
電話番号  
FAX番号  
担当者



区分・改修箇所	名称	仕様・適用	数量	単位	単価	金額	備考
1. 交付対象工事							
便所	洋式便器撤去・処分		1	式			
	床クッションフロア撤去・処分		1	式			
	壁クロス撤去・処分		1	式			
	天井撤去・処分		1	式			
	電気設備撤去・処分	コンセントプレート、スイッチプレート	1	式			
	床クッションフロア貼り	メーカー、品名等 t=2.0	1.6	m2			材工共
	壁クロス貼り	メーカー、品名等	11.0	m2			材工共
	天井化粧石膏ボード貼り	メーカー、品名等 t=9.5	1.6	m2			材工共
	ビニール幅木	メーカー、品名等h=60	4.6	m			材工共
	補助手すり	メーカー、品名、形状・寸法等	1	カ所			材工共
	補助手すり	メーカー、品名、形状・寸法等	1	カ所			材工共
	洋風便器	メーカー、品名、品番等	1	基			
		メーカー、品名、品番等					
	洋風便器取付費	1グループ	1	式			

1行で書ききれない場合は、下の行へも記入する等してください。

取付費や施工費を、材料や、製品代と分けて計上する場合は、何の取付費、施工費か明記してください。また、1グループの製品費、材料費の並びの中に、取付費や施工費を含んだ単価を含めないでください。

	コンセントプレート	仕様、品名等	1	個			材工共
	スイッチプレート	仕様、品名等	1	個			材工共
	浴槽撤去・処分		1	式			
	壁タイル撤去・処分	下地モルタルとも	1	式			
	床タイル撤去・処分		1	式			
	天井バスリブ撤去・処分		1	式			
	電気設備撤去・処分	照明器具 換気扇	1	式			
	水栓類撤去・処分	1グループ	1	式			
	ユニットバス		1	台			
	ユニットバス取付費		1	式			
	照明器具	メーカー、品名、品番等	1	台			
	スイッチ	メーカー、品名、品番等	1	個			
	換気扇	メーカー、品名、品番等	1	台			
	配線材	仕様、寸法	7	m			
	電気設備取付費		1	式			
	混合水栓	メーカー、品名、品番等	1	個			
	混合水栓取付費	1グループ	1	式			
		1グループ					
玄関							
	補助手すり	メーカー、品名、形状・寸法等	1	カ所			材工共
廊下							
	補助手すり	メーカー、品名、形状・寸法等	2	カ所			材工共
和室6畳							
	畳撤去・処分		6	枚			
	畳	仕様・寸法等	6	枚			材工共

	塗壁	既存繊維壁固着工法	17.8	m2			材工共
		下塗とも メーカー、品名等					
	襖張替	仕様・寸法等	6	枚			材工共
	襖張替 天袋	仕様・寸法等	2	枚			材工共
	エアコン脱着費		1	台			
	諸経費		1	式			
	交付対象工事合計	(税抜)					
			交付対象工事費(税込)				
2. 交付対象外工事							
洋室6畳							
	エアコン取付	メーカー、品名、品番等	1	台			材工共
	浄化槽						
	合併処理浄化槽取付	メーカー、品名、品番等	1	基			材工共
	諸経費		1	式			
	交付対象外工事合計	(税抜)					
			交付対象外工事費(税込)				
			工事費(税抜)				
			消費税				
			工事費(税込)				

【見積書作成の注意事項】 ～請負者の方へ～

工事見積書の様式は任意ですが、作成例を参考に以下の内容について留意のうえ作成してください。

1. 交付対象工事と、交付対象外工事は区分し、それぞれでの集計も行ってください。
2. 交付対象工事の内容は、「様式第3号裏面の別紙 事業計画書 1工事の内容」の記述と一致させてください。  
○見積作成例に対応する事業計画書の工事内容の表記例は下のとおりです。（先に事業計画書の工事の内容を決め、それに合わせて見積書を作成した方が容易です。）
  - ①便所の便器取替え及び内装の改修工事
  - ②ユニットバス設置による浴室改修工事
  - ③補助手すりの取付(玄関、廊下、便所)
  - ④和室6畳間の内装改修工事
3. 計上された製品、工事等の内容について問い合わせを行うことがありますので、工事仕様、メーカー、製品名、品番、形状寸法等については、工事内容の判断できるよう記載してください。また、カタログ等の資料を提出していただく場合があります。
4. 見積金額は極力、数量×単価により算出してください。また、数量や単価が著しく高いなど疑問が生じた場合は、問い合わせを行う場合があります。
5. 見積書には必ず作成業者さんの押印が必要です。作成日も必ず記載してください。
6. 単価については、取付工事費を含む単価と、材料のみの単価、また施工費のみの単価は判別できるようにしてください。特に、取り付け費は何の施工費かを付記してください。作成例中「ユニットバス取付費」「電気設備取付費」「混合水栓取付費」などです。また、取付費にかかる材料費や製品費の並びの中に工事費を含む単価を混入させないでください。作成例中では、破線で囲われた範囲が材料費や製品費と取付費のセットとして表記してあります。
7. 値引きを計上する場合は、交付対象工事費、交付対象外工事費それぞれの工事費の割合で振り分けて計上してください。